

三橋プールでのレジオネラ属菌の検出について

さいたま市西区三橋プールで、令和6年7月17日に実施したプール水等水質検査の結果、女子更衣室内のシャワーからさいたま市プール維持管理要綱で規定された基準値(10CFU/100ml未満)を上回る10CFU/100mlのレジオネラ属菌が検出されたことが、令和6年7月29日(月)の営業終了後に判明しました。

1. 検査実施場所

三橋プール女子更衣室内シャワー

2. 検査結果

箇所	検査結果	基準値
女子更衣室シャワー水	10CFU/100ml	10CFU未満/100ml

2. ご利用者の皆様へ

ご利用された方で体調が思わしくない方は施設に申し出てください。

3. 今後の対策として、原因の究明及び清掃、消毒等の対策実施後、再検査において安全性が確保されるまで、女子更衣室シャワー室の使用を中止とします。

安全性に問題がないプールサイドのシャワー、男子更衣室のシャワーは引き続きご利用いただけます。

ご利用の皆様には多大なるご迷惑をおかけいたしました。

お問合せ先 三橋プール Tel 048-624-9444
三橋総合公園プール Tel 048-624-5130

レジオネラ属菌とは、

●レジオネラ症は、レジオネラ属菌が原因で起きる感染症です。

レジオネラ属菌は、土壌、河川、湖沼などの自然環境に広く分布しており、アメーバなどの原生動物に寄生し、20℃～50℃で増殖しますが、最適の温度は36℃前後といわれています。

このレジオネラ属菌を含んだエアロゾル(目に見えない非常に小さな水滴)を吸い込んだり、レジオネラ属菌を含んだ水を誤って飲み込むことにより感染します。

●レジオネラ症は、肺炎型とポンティアック熱型に大別されます。

レジオネラ肺炎(肺炎型)にかかると、悪寒、高熱、全身倦怠感、頭痛、筋肉痛などがおこり、呼吸器症状として痰の少ない咳、少量の粘性痰、胸痛・呼吸困難などが現れ、症状は日を追って重くなっていきます。腹痛、水溶性下痢、意識障害、歩行障害を伴う場合もあります。適切で強力な治療が行われないと死亡する可能性もあります。潜伏期間は、通常1週間前後です。

治療は、エリスロマイシン、リファンピシン、ニューキノロンなどの抗菌剤を使用する必要があります。

ポンティアック熱は、インフルエンザに似た発熱を主症状とし、肺炎は見られません。2～5日で自然治癒するといわれています。